

## 特集(1) 中学校は今

補習学習や自習活動、部活動への外部人材導入以外で、中学校のボランティアコーディネーター(以下VC)の活動が成立しにくいという声をよく聞きます。東京都でもそのような声に応えるために、10/8(金)に小平で研修会を行いました。

そこで、学校支援センターとしましても町田市内中学校の取り組みを特集した「支援」を発行することにしました。参考にいただければと思います。

### 町田市立成瀬台中学校 「国際交流で英語学習を豊かにする取り組み」

成瀬台中学校では、6年前から地域の方の紹介でハワイから来る研修生を学校に招いて、3日間にわたり全校で1時間ずつ、英語学習の一環として交流による授業を展開しています。

当日は、1年生の2クラス70人ほどが、25人ほどの研修生・スタッフと楽しく学習しました。ハワイからの研修生は、本場のフラダンスやウクレレを披露してくれ、一気に緊張がほぐれました。次に、小グループに分かれてミーティングタイムです。英語が通じるたびに「オー」という感動の声と笑顔があふれました。文化の違いと同世代の共通性を感じたように思いました。このような人材を生かした取り組みは、短い時間ですが生徒に大きな印象を残したと思います。



この企画が成瀬台小学校、成瀬中央小学校へ広がり、小学校では総合的学習の時間の国際理解として取り組まれるようになりました。地域人材を生かしたすばらしい取り組みだと思います。

市内には、市民フォーラムに国際交流センターがあります。桜美林大学ではたくさんの留学生が学んでいます。人材バンクとしてつながることができると思います。また、地域にも外国の方がお住まいだと思います。

学校から要望があったときにすぐに応えられる人材をリストアップしておかれたらどうでしょう。

### 町田市立鶴川中学校「観て見て 鶴中」生徒の発表の場を支える取り組み

2002年度から、学校が週5日制になったとき、各校で授業時数確保のために行事の見直しが行われました。中学校では文化祭をなくしたり、別の形で行ったりする学校もありました。鶴川中学校では、文科系のクラブの発表の場として、土曜日にPTAが中心となって「観て見て 鶴中」という行事を課外活動として行い今日に至っているそうです。この行事で、PTA、VC、地域の方々、学校、生徒がどのようにかかわっているのか取材に行きました。

運営スタッフとして、保護者80名、生徒のボランティアは名札をつけて、30名ほどで運営していました。茶道部、演劇部、ブラスバンド部、三線部などが発表していました。茶道部・演劇部の指導に、地

域の方が当たってくださっていました。ホールでは、生徒有志によるヒップホップダンスや落語、大型紙芝居の発表もありました。ホールでの発表の運営は保護者と生徒ボランティアです。部活の担当の教員も、指導に当たってくださっていました。

見学者の中には、地域の方、近くの小中学生(鶴川一小・大蔵小)、卒業生も多く見られました。展示のなかには、鶴川第一小学校の作品や教科の学習の作品もありました。小学生は、部活の紹介コーナーを熱心に見ていました。

VCの関野さんはPTA会長もやっておられ、運営全体の統括や地域人材のコーディネートで多忙を極められたことと思います。コーディネーターのかかわり方にはさまざまなパターンがあることを、改めて実感しました。また、指導要領の改訂に伴い、ますます時間数の確保が難しくなってきますが、学校行事や発表を通して成長する生徒も多いので、このような活動を支えるVCの活動にも着目していただけるとありがたいと思いました。



### 中学校VCミーティング

10月に行われた中学校VCミーティングは、20名中13名の参加をいただき、教育センター小会議室で行われました。中学校は地区別に分けて、中学校には小学校とは違う中学校独特の活動があるので、中学校だけで集まって行いました。

話し合う中からテーマ別に分かれようと考えていましたが、以下のような話題をひとつずつ全員で話し合いました。

- ・学校側へのVCの周知がいまひとつ徹底されていないことがある。特に、他地区から異動されてきた管理職や教員、新任教員にはその傾向がある。(VCの周知→活用していただく方法の周知)
- ・陸上部の指導を企業(富士通陸上部の選手6名)にお願いしたところ、一流の選手なので1校だけではもったいないので呼びかけたら13校の合同練習につながり、合宿のようになった。(部活への外部人材の導入)
- ・補習・自習活動で、なかなか生徒が集まらないことがあった。生徒を集める秘訣を教えてください。(学力向上への取り組み)
- ・個人情報との関係で、心と体の居場所をどうしたらよいか。
- ・中学校は小学校の担任制と違い、時間割の変更が難しい。また、授業のこま数がきちっと計算されていて、ゲストティーチャーを導入したりすることが難しい。正規の時間以外に何かすることにならざるを得ない。
- ・他の学校を参観に行ったりするとき、連絡の仕方が支援センター経由でややこしい。メールや携帯で簡単にできないか。



中学校V・Cミーティング終了後の様子

## 特集（２） 小学校地区別VCミーティング行われる

**【第1地区】** 大戸小、相原小、小山中央小、小山ヶ丘小、小山小、小山田南小

8月31日(火) 14:00～16:30 会場：小山中央小

- ・地域にある大学に働きかけ、学生ボランティアの活用を積極的に進めている。まだ大学生なので児童の指導ができるのかという声もある。大学生も育てるという観点が必要だ。
- ・地域性を活かし、農業体験、食育の一環として地場野菜の学校給食への導入などもコーディネートしている。
- ・第2回第1地区VCミーティングを、12月のはじめに行う。
- ・第1地区のVC連絡網を作成する。
- ・学校での活動日や居場所を含めた教員への周知が徹底していない。

**【第2地区】** 七国山小、木曽境川小、山崎小、忠一小、忠三小、本町田小

9月21日(火) 14:00～16:00 会場：本町田小

- ・木曽境川小ではまるつけボランティアが発展して、夏休みも2時間ずつ5日間、学校からの全面的な協力を得てボランティアがついて学習室を開放したところ、80名ほどの児童が連日参加した。その結果、児童の学習に取り組む姿勢、行動の落ち着き等、変化が出てきた。

**【第3地区】** 三輪小、大蔵小、金井小、鶴一小、鶴二小、鶴三小、鶴四小

9月30日(木) 10:00～12:00 会場：鶴三小

- ・学校独自でボランティアのリストを作成しているが、活用されていない例もあり、申し訳ない。
- 運動会等の行事に招待状を出し、つながり続けることが大切ではないか。
- ・何人かで分野ごとに分担してやっている。必要なときには集まって相談できるし、大きな取り組みのときは一緒にやる。
- ・この制度が始まる前から学校がかなりの活動をおこなっており、VCとしてやらなくても済んでいる。
- 学年別、学期ごとにやっていることと連絡先等をまとめて一覧表にしておくだけでも、異動等への対応として学校は助かると思う。

**【第4地区】** 藤の台小、町一小、町五小

9月28日(火) 10:00～12:00 会場：町五小

- ・日常活動で、地域の人材リストを充実させておき、要望があったらすぐにつなげるようにするとともに、失敗体験を踏まえてボランティアを育てることに腐心している。(土曜日の活動で子どもに慣れてもらい、その後授業に登場してもらう)
- ・地域の人をゲストティーチャーにするようにしている。町で会ったときに挨拶ができる。そのために、地域活動にはこまめに顔を出している。
- ・土地柄、学生ボランティアが多く、活躍してもらっている。

**【第5地区】** 成瀬中央小、高ヶ坂小、成瀬台小、南二小、南大谷小、町六小

9月22日(水) 10:00～12:00 会場：南大谷小

- ・健全育成委員会やPTAでの知合いがVCに多くいて、情報交換や連携で大いに役立っている。
- ・コンサートや共通の人材の活用で、小学校と中学校とのつながりが強い。
- ・はじめのうちは、VCは待ちの姿勢も大切ではないだろうか。教員から要望をいただきにくい。VCを活用する方法がわかっていない。→VCからこんなことができますよと話す。→話すタイミングを工夫。
- 教員が意欲を持つ。→彫刻刀やミシンの指導補助など、細かい依頼が来るようになった。

**【第6地区】** 南つくし野小、鶴間小、小川小、南三小、南四小、南成瀬小(つくし野小参加傍聴)

9月29日(水) 10:00～12:00 会場：小川小

- ・初めてVCになった頃は、何をどうやればよいのかわからずとまどうことが多かった。2年目からは学校の様子もわかり、年度末や年度当初に外部人材を活用した事例や活用予定を記入してもらい、コーディネートするようになり、ペースがつかめた。
- ・生涯教育・社会教育と、学校教育との関係で区別に悩むことがある。生涯教育での企画・スタッフを見た学校から、学校でもやりたいという要望が出てきている。



第1地区



第2地区



第3地区



第4地区



第5地区



第6地区

2010年度 学校支援ボランティアコーディネーター研修のお知らせ

- |      |                           |
|------|---------------------------|
| 1 日時 | 2010年11月4日(木) 13:30～16:00 |
| 2 場所 | 町田市教育センター 4階 大会議室         |
| 3 内容 | 事例(市内2校・市外2校)発表後、グループワーク  |